

二浦

和書門類			
二	一	六	二
一	一	六	七
二	一	六	九
册	架	函	號

內閣文庫			
九	二	四	和
九	二	七	書
一	一	二	
〇	二	九	
架	册	號	類

內閣文庫		
番號	和 24729	
冊數	212 (61)	
函號	199	216



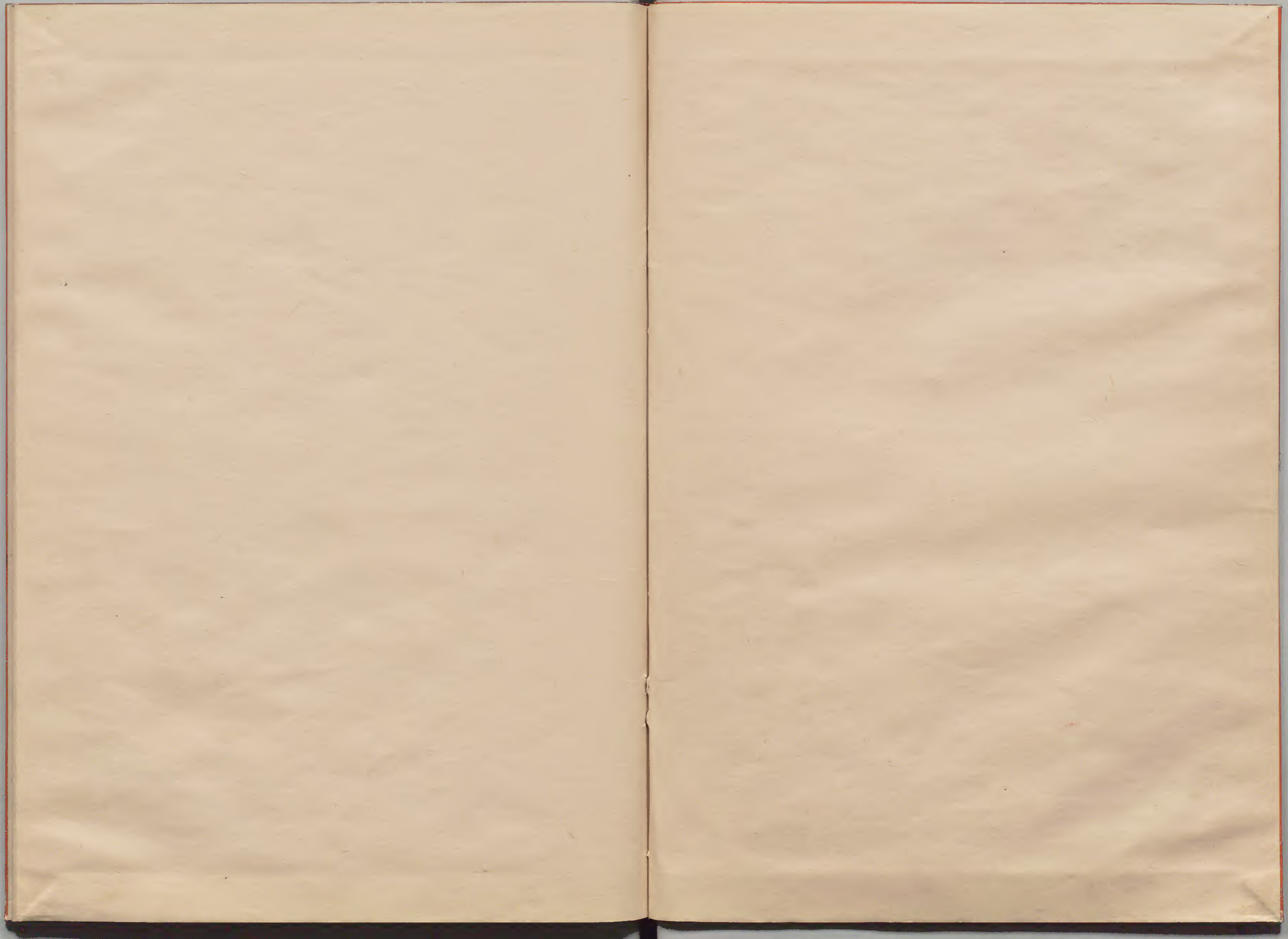
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





浅草文庫



柔田男もやゆさく運るまぐく東の櫓もあ

よ是は海湯のなりよりあら僧

よてん我来東に紙足どの箱よけ秋

思を港奥の果迄も修行をりやと

ねもしひんお板の美乃板ひるるを

てく行くへもきき湖の舟をと海

山を越くまきの草花あけひて

も星月夜鐘念ふと越はらと浦
の里は美ふりく千里の行も
者より起るもや運ごと思ひぬも
いとまきて假禰よ是れもや武蔵の
ほむつこの里よ美くげ後りを
安房の清池へ来らうむらもてか又あ
まよよ一むらびる寺のんと人よま
ハ

六浦の稱名寺とらう
とむらと思ひんあうく世後へつこの
お葉と紙盛と見えそざあう錦を
らせらるごとくそん都もしう頼のね
葉のいへる又是るる中堂の庭よ楓
乃假が本より余のあよ指し唯友
本意のどくそ一葉もお葉せよん

らぬ身あり共ふものあるよりく^{バカリ}下^トあり
もつる^{コト}一本の^{コト}位と見て^中袖の時^レ毎^トぞふ
よ^{サキ}先^{ダツ}を^{ミテ}切^リる^{ガタ}花^ハの^タ面^ハや^ハふ^ハよ^ク
此^{コノ}木^キの^メ面^メ目^メを^{ボク}社^{コソ}へ^キ引^キそ^ク件^{ケン}乃^ノ
此^{コノ}御^ミ衣^イより^カわ^カつ^トよ^イけ^キ木^キの^メみ^ミぢ^ヂぬ
とも^トい^ハう^ハある^ハ習^ハよ^ハある^ハや^ハえ^ハん^ハ 実^ミは^ハ不^フ
審^シは^ハ理^リり^ハ先^{サキ}の^エ御^ミ衣^イに^カあ^ハり^ハし^ハ時^{トキ}此^{コノ}

木^キよ^ハ思^{オモ}は^ハら^ハる^ハ木^キの^メ山^{ヤマ}里^リの^{ヒト}人^{ヒト}も^{カヨ}通^ト
ぬ^ハち^ハ寺^{テラ}の^ニ庭^ニよ^ハ我^{ワレ}先^{サキ}を^{ダチ}て^ハみ^ミぢ^ヂき^キす^ハハ
い^ハぢ^ヂめ^メある^ハは^ハ御^ミ衣^イも^カ新^ニる^ハべ^ハき^キ切^キ成^ナ名^ナ
遂^ハて^ハ身^ミを^ハり^ハそ^クい^ハ是^{コレ}天^{テン}の^メ乃^ノな^ハわ^ハと
ふ^ハ吉^{キチ}と^ハも^ハ思^{オモ}ひ^ハん^ハを^ハし^ハ時^{トキ}毎^{トキ}ぞ^ハ深^シ
す^ハて^ハ只^タを^ハれ^ハし^ハ木^キの^メと^ハく^ハあり^ハ 是^{コレ}ハ
か^ハぎ^ハの^メ作^サや^ハか^ハげ^ハ木^キの^メと^ハく^ハ程^ハを^ハ

ちろしめしるはさへいふらある人まはし
ますぞい何とらむら我はけ木
の穂あるが偽貴くまます故よ
只と顯きありしを霞はま小橋は
してよむすぐら法を洗新りて重て
安臥してゆえんと 夕の空も次々
げちろの庭の面影の籬の露ありき

千穂の花臥きもあてはへもきとどぬ
よせありく ありまよるま構みの
くは法の聲も松風もやある秋
のよれ月沈むる庭の面影も人抱り
面影や あり穂の面影ひらぶ
めろりらぐの庭よひらまそそ交交よ
ありたりあがり 笑し新あまよ

かきぞふ月沈るる庭の面にうつら
女を多しそて新のよもは及くまそ
やち本國去来皆如佛のげめ文と顔
いけそれく若を悟りて ま回季
わくの早本たのまこの時とえして花
榮松あるりのとふあとも新ういふ
先者陽乃去のゆめあ若くふる梅う枝

のうの咲袖で徳人のやまよあめん
みる梅の花さうり只せとのとみり程
の子中あ花よまきにあし月旦て
梅さばらる朧系梅に教庭の面よ
咲つぐ卯の花乃梅のや言ふまうかん
あ梅り交言秋もまよあぬまじら定
めるにむし時毎時あ花さのみららも病

時毎りらぶに下茶抄らぬをとりわ
ましも東のおの山里小思しるる都人
のなきもさうたな葉乃露の情よ
すもろく安とまのしおしよ
ちどのねがひをさげは佛果と
えらせまわおの月のおねとあ
なるに袖をやぬま
なつよ

千よと一およるをりとも
名もあまんしおのるもおしよ
清もゆかりの光り
のう風山風しり
月よ照ういて磨るるおの
めあはるるし
と日よ木の下り月のくびるる

おのゝり
おのゝり
おのゝり
おのゝり

